

## 東部圏域における疾病分類別医療受療状況(2017年国保・後期高齢, 入院)

表1 2017年医療受療状況(入院)  
全疾患対象 診療実績

MDC	分類名	全入院 圏内入院数 (人)			全入院 圏外入院数 (人)		
		急性期のみ 圏内入院数 (人)	その他入院 圏内入院数 (人)		急性期のみ 圏外入院数 (人)	その他入院 圏外入院数 (人)	
全体	全入院	18,342	15,460	2,882	771	678	93
1	神経系疾患	1,820	1,352	468	86	69	17
2	眼科系疾患	864	841	23	58	57	1
3	耳鼻咽喉科系疾患	387	375	12	22	20	2
4	呼吸器系疾患	2,366	2,181	185	55	48	7
5	循環器系疾患	2,312	1,920	392	85	79	6
6	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	3,526	3,241	285	101	100	1
7	筋骨格系疾患	939	759	180	107	86	21
8	皮膚・皮下組織の疾患	212	165	47	13	12	1
9	乳房の疾患	121	117	4	3	3	0
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	923	649	274	30	24	6
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	1,332	1,236	96	30	28	2
12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	259	198	61	40	38	2
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	434	413	21	7	7	0
14	新生児疾患、先天性奇形	44	32	12	7	7	0
15	小児疾患	108	97	11	6	4	2
16	外傷・熱傷・中毒	1,760	1,341	419	68	58	10
17	精神疾患	243	70	173	19	6	13
18	その他の疾患	303	290	13	13	13	0
NULL	NULL	389	183	206	21	19	2

解析結果に対する解釈上の注意:

傷病名は一定のアルゴリズムにより任意の1つに限定している。

MDCに分類できない傷病はNULLとしている(参考)

国民健康保険・後期高齢者医療保険に限定した解析である。

医療機関毎の解析では、鳥取県内の国保と後期高齢のみの解析であり、県外やほかの保険の被保険者の治療を主にする医療機関がある場合、誤差が大きくなる。

”急性期”の入院は、入院月の1日平均を3万円以上 or 当月のICU利用 or 当月の手術ありとして定義した。

例えば、当月に療養病床に転棟した場合など、1日平均医療費が低く見積もられるなどの誤差が存在する。

厚労省の示す高度急性期や急性期、回復期とは一致しない。

## 【資料6】

図1-1 圏内入院別割合(2017年)

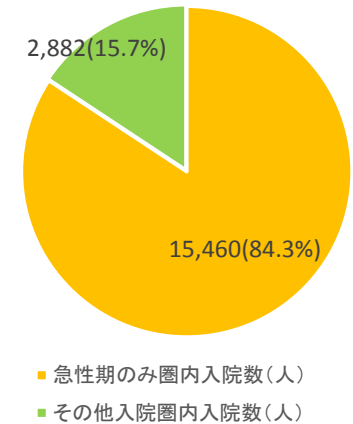


図1-2 圏外入院別割合(2017年)

